

東京 2020 大会に向けたボランティア戦略について

○ 募集や研修などの運営のあり方、参加者の裾野拡大等について基本的な考え方を示すもの

1 東京 2020 大会のボランティア

(1) 一体的なボランティア運営

- ・組織委員会と都は、**戦略を一体的に作成・公表**
- ・募集、研修などの運営、大会後に向けた取り組みについて可能な限り連携
- ・**本戦略を基に都以外の会場を有する自治体とも連携**に向けた取り組み検討

(2) ボランティア 9 万人以上が活躍

- 〈大会ボランティア〉(組織委員会が担当)
競技会場、選手村などの大会関係施設において、会場内の観客の案内・誘導、受付業務、競技運営のサポート等、直接大会運営に携わる
- 〈都市ボランティア〉(東京都が担当)
空港や主要駅、主要観光地等において、国内外からの旅行者に対する観光交通案内、競技会場の最寄駅周辺における観客への案内等を行う

(3) 東京2020大会においてボランティアが果たす役割

- ・日本人の強みである「おもてなしの心」や「責任感」を活かして行動
- ・自らの役割を心から楽しんで活動に参加し、**大会全体の雰囲気**の盛り上げ

2 戦略の主な内容

(1) 関係自治体等との連携

- ア 競技会場を有する自治体との連携
 - ・都市ボランティアユニフォーム・活動拠点装飾等の統一的デザイン検討
 - ・接遇や大会情報などの**研修を一部共有化**
- イ 全国自治体・地域(団体、交通事業者等)との連携
- ウ ラグビーワールドカップ 2019 との連携
 - ・都市ボランティアの募集を平成 29 年度に一部前倒して実施し、ラグビーワールドカップ 2019 での経験を大会に繋げる
- エ 企業等との連携
 - ・スポンサー企業や各団体等とも連携し、働く世代の積極的な参加促進を呼びかけ

(2) 多様な参加者の活動促進

- ア 障がい者
 - ・募集、研修、配置等、それぞれのプロセスにおける環境整備に取り組む

イ 児童・生徒

- ・次世代を担う若い世代が大会運営を体験できる場を検討
- 〈小学生〉都内の**小学生**が都市ボランティアへ活動を体験できる仕組みを検討
- 〈中学生・高校生〉被災地を含む**中学生・高校生**のボランティア参加を検討
- 〈大学生〉試験日程の配慮の働きかけ等、**大学生**がボランティア活動へ参加しやすい取組を検討

ウ 働く世代・子育て世代

- ・**ボランティア休暇**の整備・取得促進
- ・子育て世代も参加しやすい環境の検討

(3) 募集

〈応募条件検討の方向性〉

- ・平成 32(2020)年 4 月 1 日時点で**満 18 歳以上**の方
- ・ボランティア**研修に参加可能**な方
- ・日本国籍を有する方又は日本に滞在する資格を有する方(大会ボランティア)
日本国籍を有する方又は日本に居住する資格を有する方(都市ボランティア)
- ・**10 日**(大会ボランティア)／**5 日**(都市ボランティア)以上活動できる方
- ・東京 2020 大会の成功に向けて、**情熱を持って最後まで役割を全う**できる方
- ・お互いを思いやる心を持ち**チームとして活動**したい方

(4) 研修等

- ・組織委員会と都が連携し、**共通的な研修**(接遇、大会概要など)を実施
- ・**個別の研修**(リーダーシップ研修、役割別研修、会場別研修 など)を実施

(5) 参加気運の醸成・裾野拡大

- ・シンポジウムの開催や SNS 等様々なツールを通じて、ボランティアの**魅力を発信**
- ・今後、ネーミングやミッション等を策定

(6) 大会後のレガシー

- ・関係機関と連携し、大会後もボランティアとして活躍できる仕組みを構築

3 スケジュール

平成 30(2018)年夏ごろ:**募集開始**

「しながわサポーター」について

1. 目的 東京 2020 大会が開催されることにもない、区が主催する大会開催周知事業等スポーツイベントにおいて協力可能な企業・団体を募集する。
応募団体を「しながわサポーター」として決定し、各イベント毎に協力を募る。区をあげて、大会を盛り上げていくことを目的とする。

2. 編成数 16 団体 ※平成 29 年 9 月 20 日現在
(募集開始 平成 28 年 7 月)

3. 活動例 平成 29 年 9 月 9 日 (土) 「1000 日前フェスタ」

- ・ ボランティア派遣 (5 団体 39 人)

仕事内容 . . . 会場案内
クイズラリー対応
体験コーナー補助 等

- ・ ブース出店 (7 団体)

- ・ 物品等の提供 (3 団体)

※会場案内



※体験コーナー補助



4. その他
- ・ 平成 28 年度 決算額 136 千円
 - ・ 平成 29 年度 予算額 354 千円
 - ・ 募集ちらしは別添のとおり。

わ!と驚くしながわへ スポーツイベントを盛り上げよう!

しながわサポーター 企業団体 大募集!

区主催スポーツイベントにご協力いただける「しながわサポーター」を大募集します!
「しながわサポーター」の企業・団体名、サポート内容は、区ホームページへ掲載し、広く周知をしていく予定です。

サポートの内容 (右記のうち、1点でも可)

- ① 区主催スポーツ関連イベントへのボランティア派遣の協力
- ② 区主催スポーツ関連イベントでのブース出店 (飲食・企業PR等)
- ③ 区主催スポーツ関連イベントへの物品等の提供

しながわ サポーターの活動

- ・「しながわサポーター通知書」を送付します。
- ・イベント毎にメール等で募集する協力内容をお知らせし、協力を募ります。
- ・ご協力いただいた企業・団体名やサポート内容等を区HP等で広く周知します。

申請方法など

- ▶ 対象
 - ・区内に所在する企業・NPO・大学・商店街・各種団体
 - ・区内で活動する5人以上の団体 (代表者が品川区内在住・在勤・在学かつ半数以上が区内在住・在勤・在学の方で構成される団体)
- ▶ 活動期間 通知後～平成32年度末まで (脱退の申し出があった場合を除く)
- ▶ 申請方法 申請書に必要事項を記入し、郵送か持参またはFAX

※政治・宗教的な活動、または公序良俗に反する活動を行う団体については対象外です。また、活動内容等により「対象外」と判断した場合は、通知後であっても取り消す場合がございます。ご了承ください。

申請手続きの流れ

申請書の提出



申請書を郵送か持参、
FAXにてご提出ください。

サポーターに決定



しながわサポーター
通知書を送付します。

スポーツイベントに協力!



区でも広くPRをしていきます!

申請日 平成 年 月 日

【企業・団体情報】（※の部分は記入必須の項目になります。）

※企業・団体名	※代表者氏名	
<input type="checkbox"/> 企業（業種： ） <input type="checkbox"/> 団体等（種類： ）		
※団体区分		
住所： 〒 -		
※連絡先	電話：	FAX：
PR		

【サポート内容】（該当するものに○をつけ、サポート内容についてお書きください。）

○	サポート内容	具体的なサポートについて
	① ボランティア派遣	
	② 物品等の提供	
	④ その他（①～③以外で、協力いただける内容がありましたら記入ください）	

区内企業・団体の皆様と区が協力し、一丸となって

ご協力をよろしくお願いいたします。

問い合わせ先
〒140-8715 品川区広町2-1-36（第二庁舎6F） TEL：5742-9109 FAX：5742-6585

「英語少し通じます商店街」プロジェクト

《目的》

東京2020オリンピック・パラリンピックに向け、商店街の店主(店員)が流暢な英会話を習得するのではなく、「少し」の英語に「おもてなし」の気持ちを込めて、外国人観光客を積極的に受け入れる雰囲気を地域全体で作る。

《事業開始》

平成26年度

《内容》

外国人英会話講師が観光客役となり、各店舗に出向いて簡単な英会話フレーズを使用して買い物をする。店員は基本台本を参考に英会話講師と会話し、会話に詰まった際は日本人講師のサポートを受けながら、自分の店舗で外国人客の入店から支払い、見送りまでを体験する。

《予算額・決算額》

平成28年度決算額 62,800円

平成29年度予算額 83,000円

《実績》

実施回数 7回

参加店舗数 53店舗

* 平成29年8月末現在



外国人おもてなし語学ボランティア講座

(東京都連携講座)

《目的》

東京2020オリンピック・パラリンピック開催に向け、区民の国際力の向上を図るとともに、在住外国人および品川区を訪問する外国人に対して日本への理解を深めてもらう一環として、外国人が安心して滞在できるよう、おもてなしマインドの育成や声掛けの仕方、道案内等を学び、街中で活動するための語学ボランティア育成。

《事業開始》

平成27年度

《内容》

外国人とのコミュニケーションに関する基礎知識や、外国人に対する「おもてなし」の心を身に付けるため、おもてなしや異文化コミュニケーションについて映像やグループワークを通して学ぶ。

上記内容の「おもてなしコース」と、英会話講座が加わった「セットコース」があり、修了者には登録証とバッジを配布し、「外国人おもてなし語学ボランティア」として東京都に登録する。

講座修了後は街中で外国人に積極的に声を掛け、簡単な外国語で道案内等の手助けをしていただく語学ボランティアとして活動する(具体的な日時・場所の指定はなく、日常生活の中で自発的な活動を行う。)

* 東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会期間中に競技会場等で活動するボランティアとは異なります。

《予算額・決算額》

平成28年度決算額 35,260円

平成29年度予算額 41,000円

《実績》

全9回

おもてなしコース 7回

セットコース 2回

講座修了者 463名

* 平成29年9月3日現在

